

「核燃・再処理工場の現状と問題点(安全審査の状況)」

原水禁講演会 3月22日(土)に参加ください

日本原燃は、六ヶ所村の使用済核燃料再処理工場など4施設について、安全審査を原子力規制委員会に申請し、審査が始まりました。耐震性を強化した核燃料サイクル施設に関する新安全基準(昨年12月18日)に基づいた初めての申請です。

原燃は今年10月の工場完成を目指していますが、核燃料サイクル政策が行き詰まっている中で、再処理工場のあり方そのものが問われている状況です。

また、再処理工場は1993年に着工し97年の完成を目指していましたが、トラブルが頻発し完成時期は計20回延期。このため当初約7600億円と見込んでいた建設費はこれまでに約2兆2000億円と3倍近くに膨らんでいます。

今回、原子力資料情報室から「澤井正子」さんを迎え、現在焦点になっている「安全審査」などをテーマに講演会を開催しますので、多くの方の参加をお願いいたします。

◎ 日 時 3月22日(土) 13時～14時30分
(質問時間含む)

◎ 会 場 青森県労働福祉会館大会議室(4F)

◎ 講 師 澤井正子さん(原子力資料情報室)

〈プロフィール〉

東京生まれ、中央大学経済学部卒業。

1992年より原子力資料情報室スタッフ。

再処理・廃棄物問題担当。

共著に『原子力・核問題ハンドブック』

(七つ森書館)など。

主催 原水爆禁止青森県民会議 (財)青森県社会文化センター